

# 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	災害時応援協定締結事業	所管	総合政策部 危機管理課
			TEL 2998-9399

事業の目的 (何の為に 行うか)	市内に大規模な災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の応急対策として、各種事業所並びに他市との災害時応援協定を締結し、必要な物資の調達、供給及び災害復旧活動等が円滑に行われるようにする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	応援協定締結件数(累計)	対象とした数	26	件
		実際に 利用した数	0	件

活動の内容 (何を したか)	市内に大規模な災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、食料や防災資機材をはじめ、応急対策及び復旧対策など本市だけでは、対応できない状況が発生したときに、迅速かつ円滑に応援要請出来るように、各種事業者及び他市と災害時応援協定を締結しており、防災関係機関・団体等が参加する大規模訓練では、一部協定締結先との連携を図る訓練も実施している。							
	活動実績	項目名	応援協定締結件数 (累計)	26 ----- 単位 件	項目名	単年度応援協定締結件数	3 ----- 単位 件	項目名

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	0	0	2,818	8.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	応援協定締結相手で総合防災訓練参加件数	応援協定締結先の総合防災訓練参加要請件数に対する参加件数	0 ----- 単位 件	0 ----- 単位 件	***** ----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]			
		終了	⇒	事業完了	終了 休止
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]	終了			
	予算	現状どおり	増額	減額	終了	

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	010400	TEL	2998-9399		
事業コード	災害時応援協定締結事業							
010407								
開始年度		昭和	54	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市地域防災計画			災害対策基本法			
	関連・類似事業	所沢市地域福祉計画						
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	2節 防災	中柱	2 災害応急対策の充実	小柱
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 19 位			・実施計画における位置づけ…			H19 ***
事業開始の背景	大規模災害の発生に備え、各指定避難場所に災害対策用物資や資機材等を備蓄しているが、必要な物資や資機材等を全て備蓄することは難しく、関係企業や団体、他市町村等と災害時の応援協定を締結し、不足する物資や資機材等について対応を図っていく。							

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)								
	市内に大規模な災害が発生し、又は発生するおそれがある場合の応急対策として、各種事業所並びに他市との災害時応援協定を締結し、必要な物資の調達、供給及び災害復旧活動等が円滑に行われるようにする。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方				
	応援協定締結件数(累計)				応援協定に基づく応援要請件数				
	対象数	単位	平成 18 年度	23	件	利用数	単位	平成 18 年度	0
		平成 19 年度	26	件			平成 19 年度	0	件
事業の具体的な内容及び実施方法									
市内に大規模な災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、食料や防災資機材をはじめ、応急対策及び復旧対策など当市だけでは、対応できない状況が発生したときに、迅速かつ円滑に応援要請出来るように、各種事業者及び他市と災害時応援協定を締結しており、防災関係機関・団体等が参加する大規模訓練では、一部協定締結先との連携を図る訓練も実施している。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>							
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	平成19年度中に改善した点							
これまで、災害時応援協定の締結は、危機管理課単独で行っていたが、19年度からは、関係部署からの立会いもお願いがし、庁内関係部署との情報の共有化を図っている。								

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算				
	決算(見込み含む)				
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 )	( 人 )	( 人 )	( 人 )
	正規職員人件費	0.20 人	1,840	0.30 人	2,818
	公債費				
	事業費合計		1,840		2,818
	財源内訳	一般財源	1,840	2,818	0
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			5.4	8.3	
利用数一単位あたり(単位:円)			#DIV/0!	#DIV/0!	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	応援協定締結件数(累計)	応援協定締結件数	件	23	26	32	
		単年度応援協定締結件数	年度ごとの応援協定締結件数	件	5	3	6	
	成果分析	応援協定締結相手で総合防災訓練参加件数	応援協定締結先の総合防災訓練参加要請件数に対する参加件数	件	目標値	9	0	
					実績	9	0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
			%	達成率	100.0	*****	1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		所沢市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	災害対策用物資や資機材等に係る個別の応援協定が中心となっており、今後も協定締結件数が増加することも考えられることから、市にとって効果的な協定に絞って進めていく必要がある。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)		時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	高齢者や障害児者を対象として、市内にある国立リハビリセンターや秩父学園などの国の施設や民間の社会福祉施設と福祉避難場所(二次避難所)を開設するため応援協定の締結を図る。	現状では市内に1箇所もない福祉避難所(二次避難所)の開設	平成20年度	
		災害時に大量のトイレが必要となるため、市が進めているマンホール型トイレの設置事業のほかレンタル業者との応援協定を締結し、仮設トイレの確保を図る。	レンタル業者4社との応援協定の締結	平成20年度	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	市として全ての災害対策用物資や資機材等を備蓄しておくことは難しく、長期間備蓄が難しい物資や備蓄しておくには広いスペースが必要な資機材のほか、専門的な知識が必要な人材の確保などを協定により確保することで、財政的な負担や維持管理などの軽減を図る。				
評価日	平成20年5月14日	記入者職氏名	危機管理課 主幹 新井 徹也		

⑨個別計画における方向性	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	優先度評価	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	優先度評価				
	評価日					

⑩環境基本計画	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	182
	施策の体系	1-8災害の対策	施策の方向	1-8-2防災体制の充実
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
施策の方向				